水グモもんもん（2006）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
時間　15分

【解説】
　スタジオジブリが制作した15分の短編アニメで、三鷹の森ジブリ美術館においてのみ公開された。もんもんという名の水グモは、気泡をかき集めて巣を作ることで水中でも暮らしている。そんな彼が、水面を軽やかに滑るアメンボ相手に恋をしてしまった。初めは近づいても嫌われるだけで、見つめているだけのもんもんだったが魚に襲われたアメンボを助けたことにより、なんとか恋は成就するのであった。物語は水グモ視点で進行し、セリフらしいセリフもあまりない。その代わりにザリガニや魚、ミジンコといった水中にいる様々な生物の描写は力が入っており、そこに後年作られる『ポニョ』への繋がりを見出せる。また、水の表現には3万枚もの動画を使ったという。

【クレジット】
監督　宮崎駿
原作　宮崎駿
脚本　宮崎駿
原画　山下明彦
　芳尾英明
　鈴木麻紀子
　米林宏昌
　佐藤雅子
　二木真希子
　大塚伸治
音楽　山瀬理桜
声の出演　矢野顕子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.